



コロナ第4の山を前に病床削減！？

新型コロナウイルスの緊急宣言解除後、東京等で感染者が増えている。宮城・山形は劇的に増加。県によっては変異ウイルスが見つかった。世界的には新しい変異株が次々と見つかった。E484K変異ウイルスにはワクチンも余り効かないと云う報告もある。

このような事実から多くの専門家が感染の第4の山が来ると警報を鳴らしている。今、次の山に備えなければならぬ筈。

公立病院削減の菅政権
二〇一九年安倍政権は「再編・統合（リリスト）が必要な公立・公的病院四二四のリスト」を出した。その撤回を国会で迫られても菅政権は応じない。

民間の病院でコロナ患者を受け容れているのは少ない。公立・公的病院がコロナ患者を受け容れている。こうした重責を負わせながらリストラの対象にするのはとんでもないことだ。

公立・公的病院はコロナの大流行がなければ、感染症病室等を空けて体制を維持している。「稼働率が低いから非効率」と考えるのはおかしい。更に問題なのは管内閣が今国会に出した「病床削減推進法案」。病床を10%減らしたら、使い道自由の補助金をご褒美に出すという。今は病床削減ではなく、最大限に拡げて、どんなに流行しても対応できる体制を整える時ではないか？

医療体制削減を云う菅は、国民の医療はどうでも良いのか？
あなたはどう思われますか？

横浜開港記念会館

神奈川県横浜市中区本町
二〇二一年三月



一八五四(安政元)年に日本の開国を約束した日米和親条約が横浜で結ばれた。これにより一八五九年、横浜は開港。その五十周年事業として「開港記念会館」建設が計画された。

一九一七年に完成したが一九二三年の関東大震災で全焼。一九二七年に再建された。

しかし、その時、ドーム部分は省かれた。一九八九年にドーム部分も再建、国の重要文化財に指定された。

県庁の塔は「キングの塔」、税関の塔は「クイーンの塔」と呼ばれ、絵の右奥に見える時計塔は「ジャックの塔」と呼ばれる。

講堂、会議室があり様々な会合に使われる。絵で地面近くの石造りの部分は半地下室。一九七〇年代には港湾経済研究所があった。

来週はお休みします

